



## 「お弁当の力はすごい！」

- 6月22日（月）から7月3日（金）まで高等部の前期現場・校内実習を行いました。3年生は卒業後の進路決定に向けた現場実習を、2年生は新型コロナウイルス感染症の影響で1年生と一緒に校内実習に取り組みました。1年生は「知る」というテーマを掲げ、働く生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けるとともに、全員で一つのことを成し遂げる達成感を味わい、後期の現場実習に向けて自信を深めます。2年生は「選ぶ」というテーマの基、将来の働く生活に必要な生活習慣を確立するとともに、自らの職業適性など進路選択に必要な知識や技能を深めて年度末の進路の自己選択につなげます。3年生は「決める」のテーマを実現するために、卒業後を想定し、自らの選択した一般事業所や福祉施設で現場実習を行い、明らかとなった課題に対して家庭（学園）と学校が一体となって改善に取り組み、進路先を決定します。
- 実習期間中は作業一色の生活になります。初めての作業は、子どもが一人で正確にできるように丁寧にやり方を説明したり、補助具や見本を活用したりします。作業に慣れてくると、より早く効率よくできるように出来高表を作ったり、報告の回数を減らしたりして、支援をするよりも減らすことを心掛けていきます。
- 子どもたちの実習中の楽しみの一つは昼食です。卒業後の生活を見据えて、いつもの給食ではなく、保護者の手作りお弁当を持ってきます。子どもたちがお弁当箱の蓋を開ける瞬間のうれしそうな表情やおいしそうに食べている笑顔を見ていると、私まで幸せな気持ちになります。お弁当には、栄養満点のおかずと一緒に、実習を頑張ってもらいたいと願う保護者の愛情が隠し味として入っています。子どもたちはお弁当の力で、一人も体調を崩すことなく、2週間の実習をやり遂げました。（頑張った子どもたちに🍷、保護者のみなさんに🍷）
- 「食」という字は「人を良い」と書き、「人を良くする」と読むことができます。食べることは、健康の源であり、疲れた心と身体の疲れを癒やしてくれます。それが大好きな人の作った食事であれば、その効果は何倍もアップします。幸福は口福から！

